

技術提案書を特定するための基準

①配置予定技術者の経験及び能力

評価項目				評価の着目点	評価点	配点	
				判断基準			
配置予定管理技術者の経験及び能力	資格・実績等	資格要件	技術者資格等	下記の順位で評価する。		2	
				①・技術士（総合技術監理部門：建設部門の選択科目に限る） ・技術士（建設部門：河川・砂防及び海岸、海洋）	2		
				②・RCCM（技術士部門と同様の部門に限る）	1		
				③上記以外	選定しない		
	専門技術力	業務執行技術力	過去10年間の同種又は類似業務等の実績の内容	平成23年4月1日以降公示日前日までに完了した同種又は類似業務実績を下記の順位で評価する。		4	
				① 同種業務の実績がある	4		
				② 類似業務の実績がある	2		
				③上記以外	選定しない		
	成績	専門技術力	業務執行技術力	過去6年間に完了した業務の実績 部門： 河川、砂防及び海岸・海洋	広島県及び国土交通省発注業務の「土木関係コンサルタント業務」3件の平均業務評定点を下記の順位で評価する。		10
				①85点以上	10		
				②80点以上85点未満	8		
				③75点以上80点未満	5		
④70点以上75点未満				1			
⑤65点以上70点未満				0			
⑥65点未満				選定しない			
配置予定担当技術者の経験及び能力	資格・実績等	資格要件	技術者資格等	下記の順位で評価する。		1	
				①・技術士（総合技術監理部門：建設部門の選択科目に限る） ・技術士（建設部門：河川・砂防及び海岸、海洋）	1		
				②・RCCM（技術士部門と同様の部門に限る）	0.5		
				③上記以外	選定しない		
	専門技術力	業務執行技術力	過去10年間の同種又は類似業務等の実績の内容	平成23年4月1日以降公示日前日までに完了した同種又は類似業務実績を下記の順位で評価する。		2	
				① 同種業務の実績がある	2		
				② 類似業務の実績がある	1		
				③上記以外	選定しない		
				記載する業務は1件とし、図面、写真等を引用する場合も含め、1件につき1枚以内に記載する。			

(別表2)

	成績	専門技術力	業務執行技術力	過去6年間に完了した業務の実績	広島県及び国土交通省発注業務の「土木関係コンサルタント業務」3件の平均業務評定点を下記の順位で評価する。		5
				部門： 河川，砂防及び海岸・海洋	①85点以上	5	
					②80点以上 85点未満	4	
					③75点以上 80点未満	2.5	
					④70点以上 75点未満	0.5	
					⑤65点以上 70点未満	0	
					⑥65点未満	選定しない	
小計						24	

②実施方針

評価項目	評価の着目点		書面+ヒアリング		
	評価項目		評価点	評価点	
実施方針・実施フロー・工程表・その他	業務理解度	目的, 条件, 内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	①正しく理解	3	3
			②概ね理解	1	
			③理解度が低い	0	
	実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	①妥当性がある	3	3
			②一部不整合な部分有り	0	
	工程表	業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	①妥当性がある	3	3
			②一部不整合な部分有り	0	
	その他	業務に関する知識, 有益な代替案, 重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	①業務に関する知識があり, 「有益な代替案」, 「重要事項の指摘と重要事項の指摘に対する対応」の2つがある。	3	3
			②業務に関する知識があり, 「有益な代替案」, 「重要事項の指摘と重要事項の指摘に対する対応」のいずれかがある。	1	
			③上記以外	0	
		地域の実情を把握した上で, 業務の円滑な実施に関する提案があった場合には評価する。	①有益な提案有り	3	3
	②上記以外		0		
小計				15	

③評価テーマ

評価項目	評価の着目点		書面+ヒアリング		
	評価項目		評価点	配点	
評価テーマに関する技術提案	的確性	地形, 環境, 地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	①整合性が十分ある	16	16
			②整合性がある	8	
			③整合性が不十分	0	
		着目点, 問題点, 解決方法等が適切かつ論理的に整理されており, 本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。	①キーワードが十分網羅	16	16
			②キーワードが網羅	8	
			③キーワードの記述が不十分	0	
	事業の重要度を考慮した提案となっている場合に優位に評価する。	①重要度が十分に考慮	8	8	
		②重要度を考慮	4		
		③重要度の考慮が不足	0		
	実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	①説得力が十分にある	16	16
			②説得力がある	8	
			③説得力が不十分	0	
提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。		①複数の類似実績がある	5	5	
		②類似実績がある	3		
		③類似実績がない	0		
小計				61	

④参考見積に対する確認

評価項目	評価の着目点	評価点	配点
参考見積	提示した業務規模を超えているか、また提案内容に対して見積もりが不適切な場合は特定しない	—	
合計			100